



環境レポート 2025

株式会社美鈴工業では、地球環境の保全は、人類社会共通の最重要課題であると位置づけ「環境レポート2025」(簡易版)を発行しました。

このレポートは、当社の環境保全活動の取組み内容をまとめたもので今回が第19回となります。

1. 環境マネジメントシステム

(1) ISO14001 認証取得状況

2015年9月15日付で、ISO14001の新規格として、ISO 14001:2015 (2015年度版ISO14001)が発行されました。

それに伴い、弊社においても新規格に適合する環境マネジメントシステムの構築を行い、2017年12月1日付けで新規格の環境マネジメントシステムの認証を受けました。

現在に至るまで登録更新しております。

認証取得サイト

株式会社 美鈴工業 本社工場

認証取得時期 (ISO14001:2015)

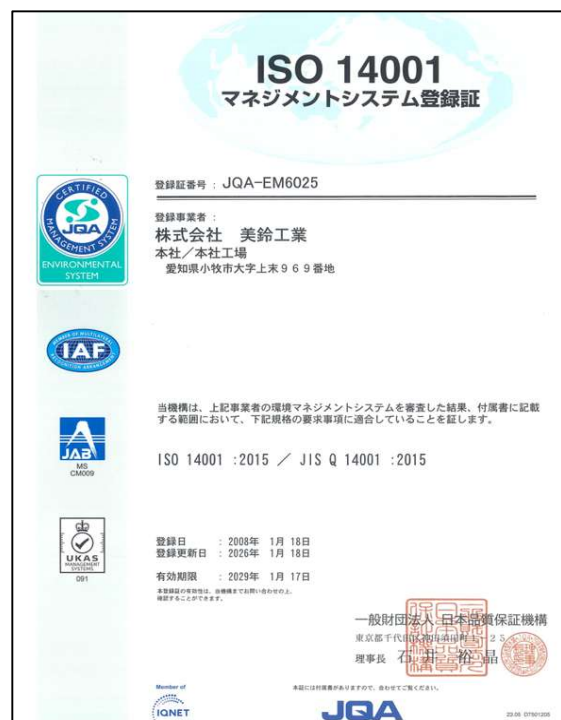
2017/12/1

登録更新日

2026/1/18

認証機関:JQA

登録証番号:JQA-EM6025



(2) システムの運用

本社工場では、全従業員の参加を基本とし、テリトリー単位(部署・係を超えた類似部署の集合単位)でPDCAサイクルを回して目的・目標の達成を図っています。

内部監査はテリトリー単位で年1回実施し、システムの構築状況、目的、目標の達成の確認をしています。また、環境委員会を3ヶ月に1回実施し情報の共有化を図っています。

	2023年度	2024年度	2025年度
活動テーマ数	7件	7件	8件
内部監査員数	10名	10名	10名

2. 環境リスク

(1) ばい煙排出管理

社外測定 2回/年 測定項目: ばい塵濃度、NOx

(2) 騒音管理

社内測定 2回/年 測定項目: 境界線騒音

社内測定 その都度/設備変更時 測定項目: 境界線騒音

(3) 浄化槽管理

社外測定 1回/3ヶ月 定期検査 測定項目: 水質検査

社外測定 1回/年 法定検査 測定項目: BOD、塩化物イオン濃度

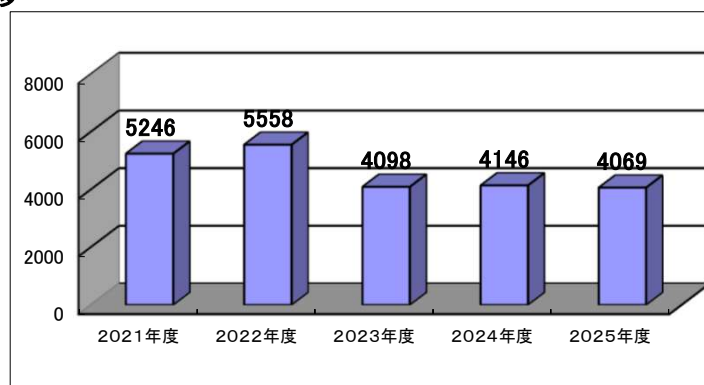
3. 環境保全効果

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
電力(千Kwh)	5,246	5,558	4,098	4,146	4,069
LPG(t)	0.452	2.24	1.55	0.418	0.36
ガソリン(KL)	3.3	3.01	2.55	2.78	2.93
軽油(KL)	0.08	0	0	0	0
廃棄物の埋立量(トン)	6.1	7.5	7.1	5.4	7.2
廃棄物のリサイクル・焼却量(トン)	19.0	18.2	16.5	17.1	14.5

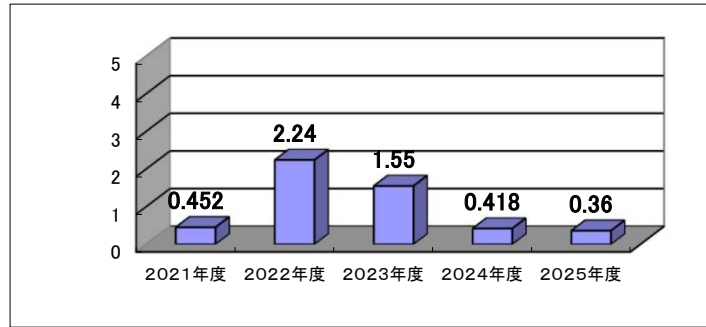
4. エネルギー

(1) エネルギー使用量の推移

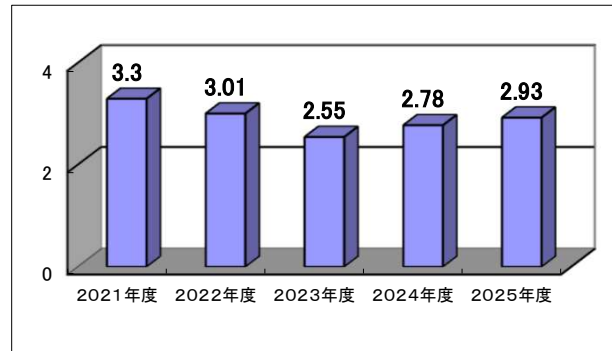
■ 電力(千Kwh)



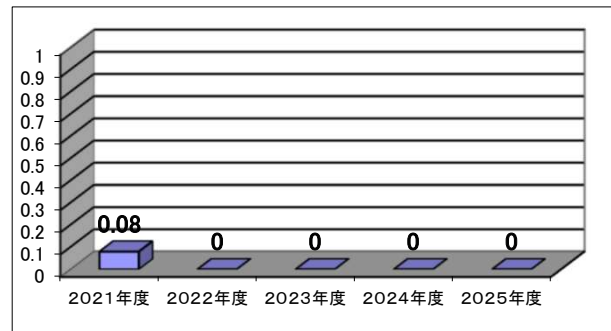
■LPGガス(トン)



■ガソリン(KL)



■軽油(KL)



(2)省エネの推進

- ① 空調温度の適正化を行なっています。(エアコンの温度管理に取り組んでいます)
- ② 昼休み・休憩時間の消灯に取り組んでいます
- ③ エアコンフィルターの定期清掃に取り組んでいます
- ④ 社用車を低燃費車に入れ替え
- ⑤ 焼成炉の稼働効率を工夫し、使用電力の大幅削減に成功
- ⑥ 非常灯・誘導灯をLED灯への切り替えを進めております



(3)省資源の推進

- ① 両面コピーによるコピー紙の使用量削減を図っています。
- ② 使用済みの用紙による裏紙利用を積極的に行っています。
- ③ 一般紙、上質紙、段ボール等仕訳して一般廃棄物として有価償却を行っています。
- ④ 情報のデジタル化推進により紙へ印刷する機会を抑制していきます。

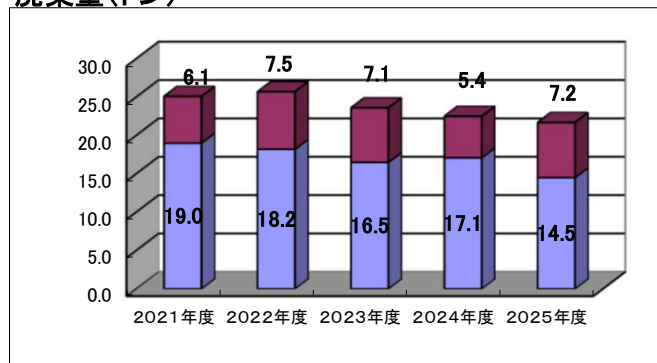
5. 廃棄物(トン)

(1)埋め立て量とリサイクル量

省資源対策として資源の
分別徹底により埋め立て削減と
リサイクル率アップを図っています。

埋め立て
リサイクル

廃棄量(トン)



(2)分別ボックスの設置による、ダンボール、新聞紙、上質紙、雑誌、プラスチック等の分別回収、リサイクルの実施に取り組んでいます。



6. 地球温暖化防止対策へ取り組み

- ・第7工場の太陽光発電の活用
- ・今後、社有車をアイドリングストップ車やハイブリッド車への置き換えを推進
- ・エアコン、コンプレッサー等のユーティリティを計画的に更新し、環境負荷の減少

7. コミュニティー地域貢献活動の実施

(1)トップを始め従業員による近隣における清掃活動を維持実施しています。

小牧美化ウォーク



2025年5月31日(土) 9:00~10:30